

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【公開番号】特開 2018-103397 (P2018-103397A)

【公開日】平成 30 年 7 月 5 日 (2018.7.5)

【年通号数】公開・登録公報 2018-025

【出願番号】特願 2016-249770 (P2016-249770)

【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 21/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 21/00 Z

B 4 1 J 29/00 E

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 18 日 (2019.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の外部装置と無線又は有線により通信が可能な通信手段と、
前記通信手段により前記複数の外部装置から受信した画像を一枚の記録用紙に印刷する印刷手段と、

前記印刷手段により印刷する印刷部数を設定する設定手段と、を備え、

前記設定手段は、前記通信手段により画像を受信した前記外部装置の数を、前記印刷部数として設定可能であることを特徴とする印刷装置。

【請求項 2】

前記設定手段は、ユーザの操作により設定された数、または前記通信手段により画像を受信した前記外部装置の数のいずれかを、前記印刷部数として設定することを特徴とする請求項 1 に記載の印刷装置。

【請求項 3】

前記通信手段により画像を受信した前記外部装置の数を判定する判定手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の印刷装置。

【請求項 4】

前記判定手段は、同じ M A C アドレスの前記外部装置を同じ外部装置であると判定することを特徴とする請求項 3 に記載の印刷装置。

【請求項 5】

前記判定手段は、同じ I P アドレスの前記外部装置を同じ外部装置であると判定することを特徴とする請求項 3 に記載の印刷装置。

【請求項 6】

前記印刷手段は、前記外部装置の数を前記印刷部数とする際に、外部装置ごとに異なるレイアウトで前記通信手段により受信した画像を印刷することを特徴とする請求項 1 に記

載の印刷装置。

【請求項 7】

複数の外部装置と無線又は有線により通信が可能な通信手段と

前記通信手段により前記複数の外部装置から受信した画像を一枚の記録用紙に印刷する印刷手段と、を備える印刷装置の制御方法であって、

前記通信手段により画像を受信した前記外部装置の数をカウントするカウントステップと、

前記カウントステップでカウントした前記外部装置の数を、前記印刷手段により印刷する印刷部数として設定する設定ステップと、を備えることを特徴とする印刷装置の制御方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の印刷装置の制御方法の各ステップをコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。